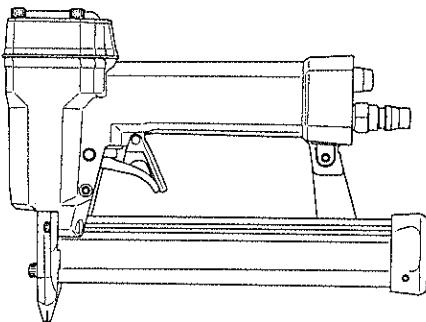


Makita

取扱説明書

ピンタッカ モデルP25



このたびはピンタッカをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



本機の取扱いにあたって、ピンタッカを能率よく、安全にお使いいただくため、取扱説明書は最後までお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法などについて充分理解の上、正しく御使用くださるようお願いいたします。

△ 危険

この表示は記載事項に従わないと、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合を示します。

△ 警告

この表示は記載事項に従わないと人身事故につながる可能性がある場合を示します。

△ 警 告

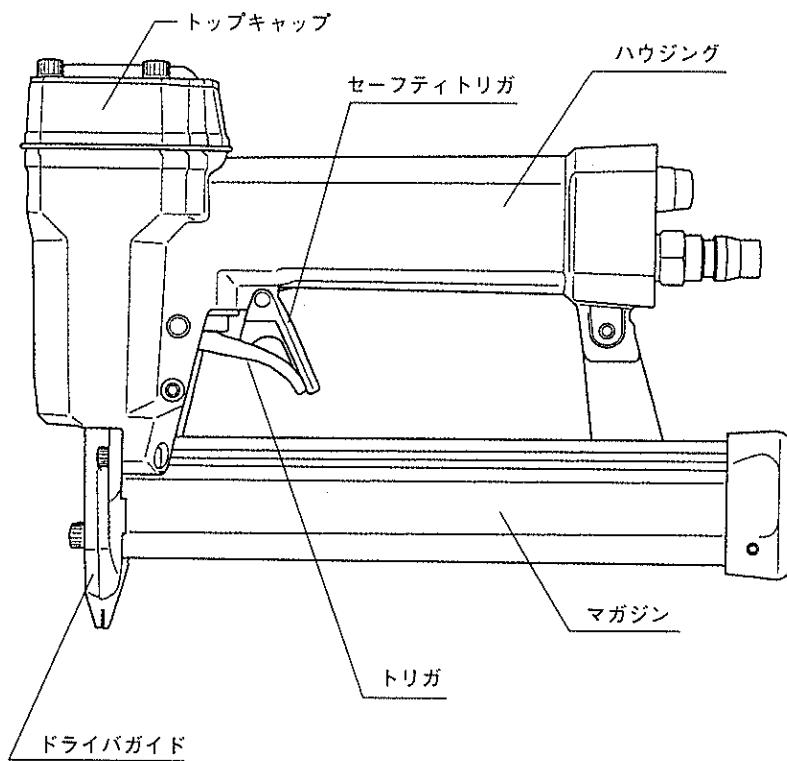
- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 必ずセーフティゴーグル(保護メガネ)を着用して使用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。
正常に作動しない場合は使用しない。
- 使用しない時、また、調整・修理・連結釘装填の時は必ずエアホースをはずす。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は必ずエアホースをはずす。
- エアホースを接続する際は絶対にトリガ(引金)に触れない。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 振発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管して下さい。
- 本機の仕様は性能向上のため、予告なしに変更することがあります。

目 次

各部の名称	2
仕様	3
使用釘の種類	3
用途	4
標準付属品	4
安全装置	5
使用前の準備	6
ピンタッカを安全に使用するために	7
使用法	14
使用後の保守・点検	15

各部の名称



2

仕様

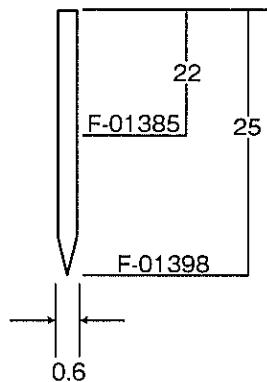
寸法(長さ)	220 mm
(幅)	43 mm
(高さ)	163 mm
重量	0.9 kg
使用釘長さ	22、25 mm
装填本数	192本(96本×2連)
使用空気圧(手元レギュレーターゲージ圧)	0.55~0.69MPa (5.6~7.0kgf/cm ²)
使用オイル	タービン油 (JIS 2種 ISOVG32)
エアーホース内径(長さ30 m以内)	6.5 mm以上

3

使用釘の種類



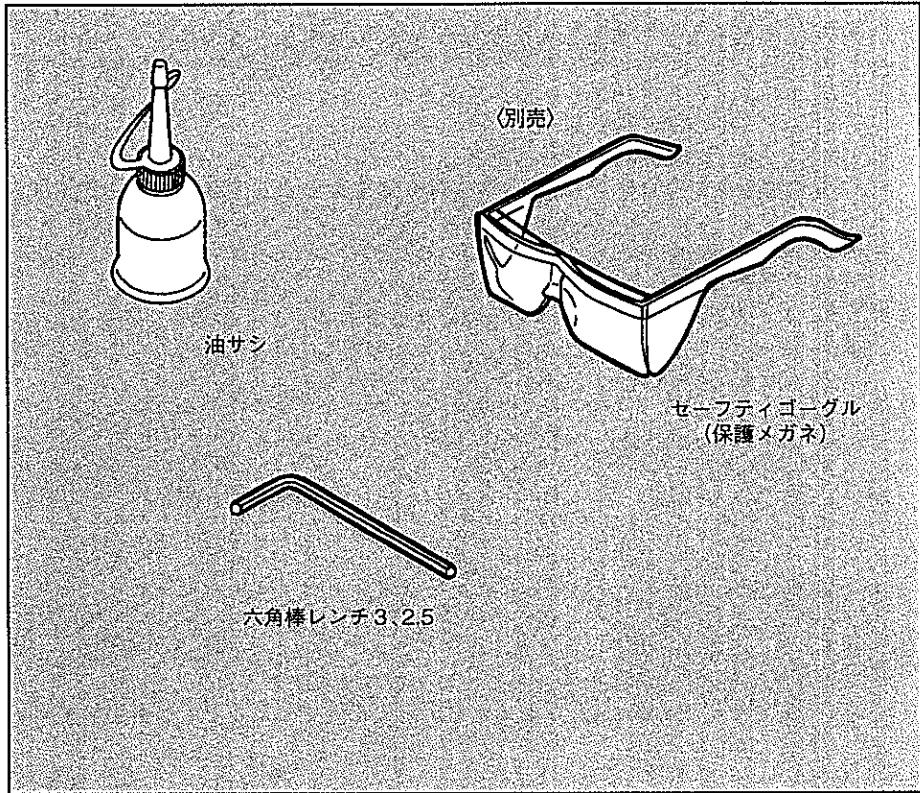
ピンタッカの故障や事故をさけるため、必ず弊社
純正の釘をお使いください。



4

標準付属品

- | | | |
|-----------|----|-----------------------|
| ①油サシ | 1本 | セーフティゴーグル(保護メガネ)…(別売) |
| ②六角棒レンチ 3 | 1本 | |
| 2.5 | 1本 | |



安全装置

⚠ 危険

本機は、コンタクトアームを装備しておりませんので取扱には十分注意してください。

- ・トリガロックを解除した(セーフティトリガを引いた)状態でトリガ(引金)を引くと発射しますので、トリガ(引金)を引くときは射出口を部材に押し当ててください。
- ・射出口には絶対に手、足、顔等を向けないでください。
- ・射出口を絶対に人体に向けないでください。
- ・移動する際は必ずトリガロック(セーフティトリガを戻す)をし、エアホースをはずしてください。
- ・ピンタッカを使用しない時は必ずトリガロックをし、エアホースをはずしてください。
- ・作業中断時は必ずトリガロックをし、エアホースをはずしてください。

本機には、安全装置としてトリガロック機能がついています。トリガロック機能とは、作業を一時中断する場合等ロックすることによって誤発射を防ぎます。釘を打つ作業中以外は必ずトリガロックをしてください。

ピンタッカを安全に使用するために

⚠ 警 告

エアホース

内径6.5mm以上のエアホースを30m以内でお使いください。

給油

付属の油サシにて作業の前後にエアプラグより、ターピン油を2~3滴（0.1cc）注入してください。給油を怠るとピンタッカの寿命が短くなるばかりか、故障や事故の原因になりますので、必ず行ってください。

空気圧

空気圧の高低は釘の長さ、釘が打たれる対象物の木質によって異なります。

このピンタッカの使用圧力範囲は手元レギュレータゲージ圧で0.55~0.69MPa（5.6~7.0kgf/cm²）です。

対象物の木質により、この範囲内で調整してお使いください。

⚠ 警 告

①作業関係者以外近づけない。

作業する場合には、作業者以外の人を近づけないでください。



②作業環境に応じた防具を着用のこと。

作業環境に応じて、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

③正しい服装で安定した姿勢で作業をする。

作業に適した服装で作業をしてください。又、無理な姿勢での作業は危険です。常に足場をかため、身体の安全を保って作業をしてください。

④作業に入る前に必ず始業点検を行う。

各部のナット、スクリューボルト、ストップリング等の締め金具が緩んでいないか、その他部品がはずれたり傷んだりしていないかを点検してください。いずれの部品も、それぞれ大切な役目を果たしております。はずれたり、傷んでいると故障したり、思わぬ事故を起こしますので、充分注意して点検してください。

⑤給油及び圧力点検をする。

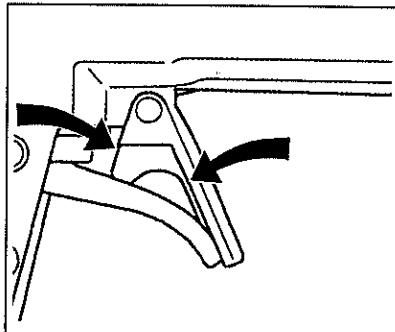
指定の圧力より低いと、ピンタッカの機能を果たしません。又指定の圧力を越えるとピンタッカの寿命を早めたり、危険が生じます。

給油は、作業の前後にピンタッカのエアプラグより、付属の油サシでタービン油（JIS 2種 ISOVG32）を2～3滴（0.1cc）注入してください。

！警告

⑥安全装置（トリガロック）が適確に動くか点検する。

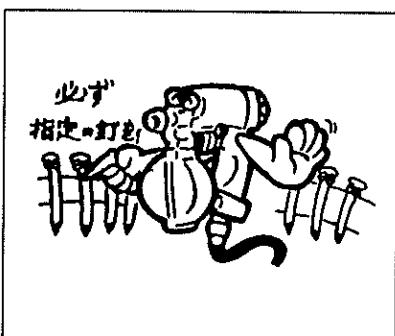
まずエアホースを接続しない状態で、トリガがロックするか確認し、ロックを解除する(セーフティトリガを引く)ことによってトリガが作動するか確認してください。次にエアホースを接続することによっても同様、前記の通り確認してください。なお、ロックの作動しない時、またはロックが解除しない時は絶対に使用しないでください。



⑦必ず当社指定の釘を使用する。

連結方法がよく似た他社製の連結釘が販売されていますが、連結角度、連結間隔、あるいは連結材が微妙に違いますので、使用しますと、故障や事故の原因になりますから、必ず指定の釘を御使用ください。

尚、保管状態の悪いものは、使わないようにしてください。



⑧エアもれや異常音が無いかを確認する。

エアホースを接続したら、まず各部にエアもれが無いかを確認してください。

次に釘を打込んでください。釘が曲がったり、異常音を発生したりしないかを確認してください。エアもれのある機械や、その他異常のある機械は絶対に使わないでください。

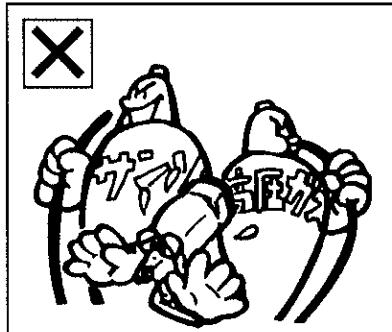


⚠ 警 告

⑨動力源は必ず圧縮空気を使用する。

圧縮空気を動力源として使用し、酸素ボンベや高圧ガスボンベは絶対に使用してはいけません。

使用するとピンタッカが爆発するおそれがあります。



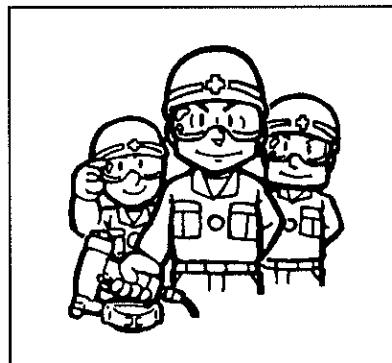
⑩作業現場は整理、整頓をして特に足元の整理に注意を払う。

屋外作業で足場を使っての高所作業では、足場の安全性を確認してから作業を行ってください。又、作業をする場所の照明は充分に明るくしておいてください。



⑪作業中は常にセーフティゴーグルを着用する。

粉塵や、万一打ち損じた釘がはね返り、目に入ると危険ですから、作業をする本人だけでなく、周囲で作業をしている人も、必ずセーフティゴーグルを着用してください。



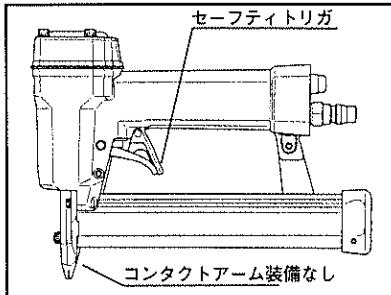
⑫防音保護具を着用する。

作業をする場合、排気音や排気エアから耳を守るために作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

⚠ 警 告

- ⑩本機はコンタクトアームを装備していないので取扱に注意する。

本機はトリガロックを解除した(セーフティトリガを引いた)状態でトリガを引くと発射しますので、十分注意して使用してください。
釘打ち作業以外は使用しないでください。



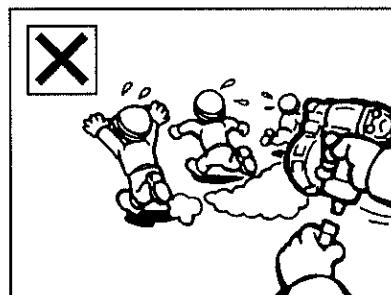
- ⑪射出口には、絶対に手を近づけないこと。また材料を手で支える時は充分注意する。

やむを得ず材料を手で支えなければならない時は、射出口付近から離し、かつ充分安全な場所を支えるようにすること。



- ⑫エアホース接続時は必ず下記を厳守する。

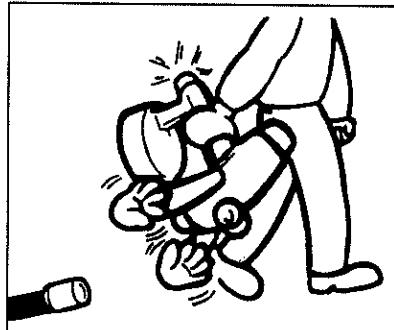
- トリガ（引金）に触れない。
- トリガロックをする。
- 射出口に触れない。
- 射出口を人体に向けない。



⚠ 警告

⑯ 移動する際は必ずエアホースをはずす。

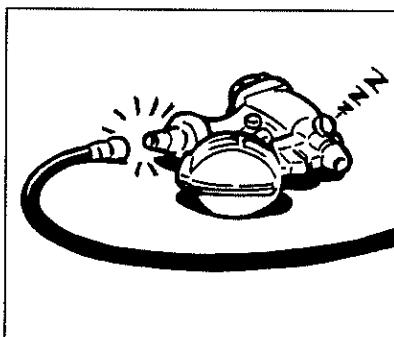
エアホースを接続した状態でトリガ（引金）を引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をすると、誤って発射することがあり、思いがけない事故につながりますので移動する際はエアホースをはずしてください。



⑰ ピンタッカを使用しない時は必ずエアホースをはずす。

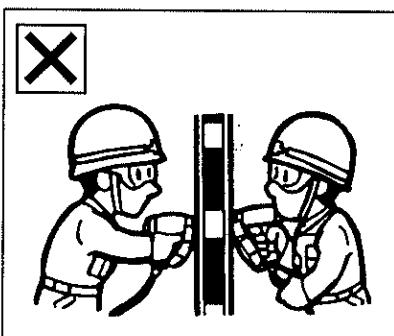
⑯ 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中の釘装填、調整及び釘つまりを除去するとき、誤って釘を発射すると危険ですので、エアホースをはずしてください。



⑯ 射出口を向け合っての作業はしない。

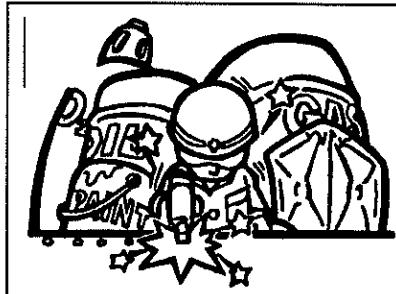
相手の姿が見える場合はもちろん、見えない場合でも両側から向かい合っての同時打ちは大変危険です。



⚠ 警告

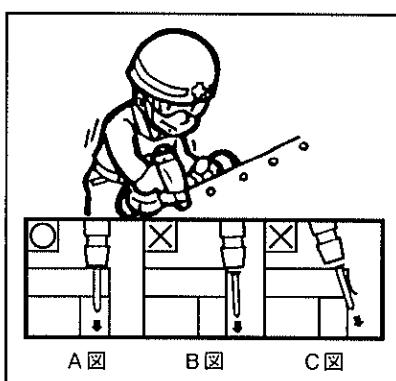
①危険物の近くでは作業をしない。

釘打込み時に火花が飛散することがありますので、ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス類、接着剤等、引火あるいは爆発の恐れがある物質の近くでは、絶対に作業をしてはいけません。



②縁を打つ場合の位置、方向に注意する。

A図のように対象物に対して、垂直に押し付けられた状態を確認し、打ち込んでください。



③機体の反動に注意する。

作業中はピンタッカの上方に顔などを近づけないようにする。一度打った釘、堅い木や筋などを打つと機体が強く反動しますので、注意してください。

④作業中、ピンタッカに異常が発見されたら、ただちに使用を中止する。

エアもれ、異常音、打込み不良、その他通常の時と違った現象が確認されたら、ただちに使用を中止し、点検・修理を受けてください。

⑤セーフティトリガは絶対に改造したり、取りはずしたりしない。

⚠ 警 告

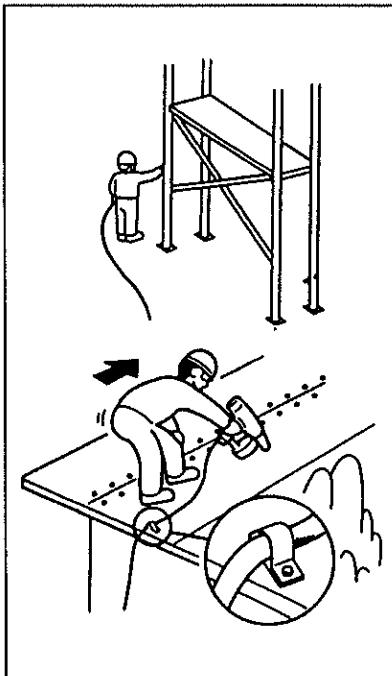
②高所で作業をする場合、次のことを注意する。

- ・足場を使って作業をする場合、足場の安全性を充分確認して、作業をしてください。
- ・エアホースは作業をする場所の近くに固定してください。これは、ホースが引掛かったり、引っ張られたりすると反動で身体の安定を欠くことになり危険です。
- ・屋根などの傾斜面での釘打作業は、下から上へ向かって前進しながら行ってください。後退しながら作業をすると、足を踏みはずす恐れがあります。

③ピントッカの改造は厳禁。

④直射日光はさける。

ピントッカ、コンプレッサ、エアホースなどを、長時間直射日光のある場所に放置しないでください。



⑤使用後の注意事項

使用した後は、エアホースをはずし、釘を抜きとり、エアプラグからタービン油 (JIS 2種 ISOVG32) を2~3滴 (0.1cc) 注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

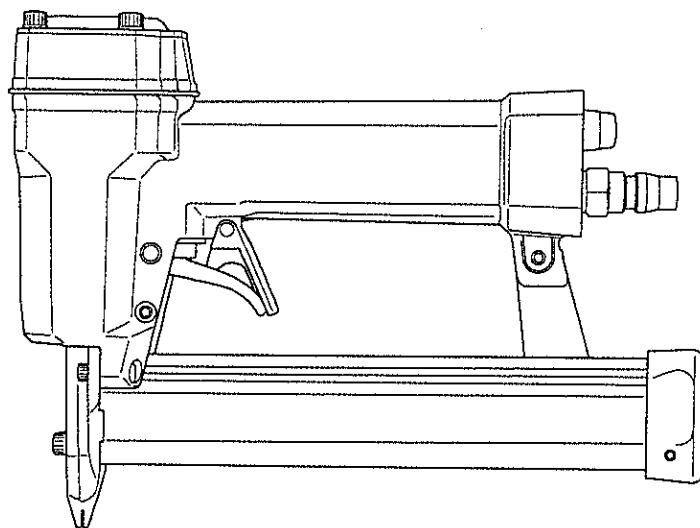
使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。



釘装填時はエアホースを必ずはずす。

ピンネイルの装填

片手でピントッカを持ち、もう一方の手でサブマガジンを後に引きます。ピントッカを横に向け、図のようにピンネイルをマガジンの中に入れて、サブマガジンを押し戻し、ロックします。又、ピンネイル装填の時は絶対にトリガ(引金)に指を掛けないでください。



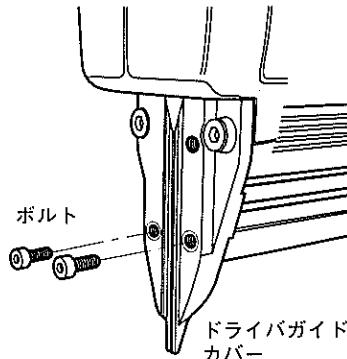
使用後の保守・点検

△警告

釘つまりの際エアホースを必ずはずす。

釘つまりの直し方

- 誤って機械が作動すると事故の原因になります。作業に入る前に、本機からエアホースをはずしてください。
- マガジン内に残ったピンネイルを抜き取ってください。
- 付属の六角棒レンチを使用して、2本のボルトをはずします。
- ドライバガイドカバーを取りはずします。
- 通路につまつたピンネイル、破片、接着剤、木くずなどマイナスドライバーなどで取り除きます。



エアプラグキャップ

エアホースを取りはずした時には、エアプラグの根元に取付けられているエアプラグキャップをはめ込んで、砂やほこり、雨水等が釘打機の内部に入らないようにしてください。

使用後の清掃

使用した後は、エアホースをはずし、釘を抜きとり、エアプラグからタービン油 (JIS2種 ISOVG32) を2~3滴 (0.1cc) 注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

エアコンプレッサ等の水抜き

作業が終わったらエアコンプレッサの電源を切り、ドレンコックを開いて、タンク内の残圧によって溜った水を抜いてください。特に湿気の多い季節は想像以上に水が溜ります。作業後は毎日、水抜きを行ってください。

残り釘の保管

残った釘は釘ケースに納め、安全で常温の乾燥した場所に保管し、釘ケースの上に他の品物を乗せないようにしてください。



△警告

この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

メモ

メモ

全国に広がるアフターサービス網

・お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	011) (783) 8141	足立営業所	03) (3899) 5855	東大阪営業所	06) (6746) 7531
札幌営業所	011) (783) 8141	大田営業所	03) (3763) 7553	関西物流センター	0725) (46) 6715
旭川営業所	0166) (29) 0960	江戸川営業所	03) (3653) 5171	南大阪営業所	0725) (46) 6611
釧路営業所	0154) (37) 4849	多摩営業所	042) (384) 8411	奈良営業所	0742) (61) 6484
函館営業所	0138) (49) 9273	立川営業所	042) (542) 1201	福原営業所	0744) (22) 2061
苫小牧営業所	0144) (68) 2100	横浜支店	045) (472) 4711	和歌山営業所	073) (471) 4585
帯広営業所	0155) (36) 3833	横浜営業所	045) (472) 4711	田辺営業所	0739) (25) 1027
北見営業所	0157) (26) 9011	川崎営業所	044) (811) 6167	沖縄営業所	098) (874) 1222
仙台支店	022) (284) 3201	平塚営業所	0463) (54) 3914	兵庫支店	0794) (82) 7411
仙台営業所	022) (284) 3201	相模原営業所	042) (757) 2501	三木営業所	0794) (82) 7411
古川営業所	0229) (24) 0698	湘南営業所	0466) (87) 4001	尼崎営業所	06) (6437) 3660
青森営業所	017) (764) 4466	静岡支店	054) (281) 1555	神戸営業所	078) (672) 6121
八戸営業所	0178) (43) 3321	静岡営業所	054) (281) 1555	姫路営業所	0792) (81) 0204
盛岡営業所	019) (635) 6221	沼津営業所	055) (923) 7811	広島支店	082) (293) 2231
水沢営業所	0197) (22) 5101	浜松営業所	053) (464) 3016	広島営業所	082) (293) 2231
郡山営業所	024) (932) 0218	甲府営業所	055) (276) 7212	福山営業所	084) (923) 0960
いわき営業所	0246) (23) 6061	金沢支店	076) (249) 5701	三原営業所	0848) (64) 4850
新潟支店	025) (247) 5356	金沢営業所	076) (249) 5701	岡山営業所	086) (243) 4723
新潟営業所	025) (247) 5356	七尾営業所	0767) (52) 3533	宇部営業所	0836) (31) 4345
長岡営業所	0258) (30) 5530	富山営業所	076) (451) 6260	徳山営業所	0834) (21) 5583
山形営業所	023) (643) 5225	高岡営業所	0766) (21) 3177	鳥取営業所	0857) (28) 5761
酒田営業所	0234) (26) 3551	福井営業所	0776) (35) 1911	松江営業所	0852) (21) 0538
秋田営業所	018) (863) 5205	岐阜支店	058) (274) 1315	高松支店	087) (841) 2201
宇都宮支店	028) (634) 5295	岐阜営業所	058) (274) 1315	高松営業所	087) (841) 2201
宇都宮営業所	028) (634) 5295	多治見営業所	0572) (22) 4921	徳島営業所	088) (626) 0555
小山営業所	0285) (25) 5559	松本営業所	0263) (25) 4696	松山営業所	089) (951) 7666
水戸営業所	029) (248) 2033	長野営業所	026) (225) 1022	宇和島営業所	0895) (22) 3785
土浦営業所	029) (821) 6086	上田営業所	0268) (22) 6362	高知営業所	088) (884) 7811
関東物流センター	048) (771) 3451	飯田営業所	0265) (24) 1636	福岡支店	092) (411) 9201
埼玉支店	048) (771) 3462	名古屋支店	052) (571) 6451	福岡営業所	092) (411) 9201
さいたま営業所	048) (777) 4801	名古屋営業所	052) (571) 6451	北九州営業所	093) (551) 3481
川越営業所	049) (222) 2512	一宮営業所	0586) (75) 5382	飯塚営業所	0948) (26) 3361
熊谷営業所	048) (521) 4647	東名古屋営業所	0561) (73) 0072	久留米営業所	0942) (43) 2441
越谷営業所	0489) (76) 6155	知多営業所	0569) (48) 8470	佐賀営業所	0952) (30) 6603
前橋営業所	027) (232) 5575	岡崎営業所	0564) (22) 2443	長崎営業所	095) (882) 6112
高崎営業所	027) (365) 3688	豊橋営業所	0532) (46) 9117	佐世保営業所	0956) (33) 4991
両毛営業所	0276) (46) 7661	四日市営業所	0593) (51) 0727	熊本支店	096) (389) 4300
千葉支店	043) (231) 5521	津営業所	059) (232) 2446	熊本営業所	096) (389) 4300
千葉営業所	043) (231) 5521	伊勢営業所	0596) (36) 3210	八代営業所	0965) (43) 1000
市川営業所	047) (328) 1554	京都支店	075) (621) 1135	大分営業所	097) (567) 3320
成田営業所	0478) (73) 8101	京都営業所	075) (621) 1135	宮崎営業所	0985) (26) 1236
木更津営業所	0438) (23) 2908	福知山営業所	0773) (23) 7733	鹿児島営業所	099) (267) 5234
柏営業所	04) (7175) 0411	大津営業所	077) (545) 5594	大阪支店の構をご覧ください。	
東京支店	03) (3816) 1141	彦根営業所	0749) (22) 6184		
東京営業所	03) (3816) 1141	大坂支店	06) (6351) 8771		
中野営業所	03) (3337) 8431	大阪営業所	06) (6351) 8771		